

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木 1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

見えない未来を信じる力

校長 清田 博之

(特に、高学年の保護者の皆様に向けてメッセージを送らせていただきます。)

一万円札は、最高額の日本銀行券ですが、2024 年からは渋沢栄一と東京駅が描かれることになっています。一万円札に描かれる人は、渋沢栄一が三人目となります。皆さんは、渋沢栄一がどんな人物であったかご存じでしょうか。

江戸幕府最後の将軍慶喜がまだ一橋家にいた頃、家臣の推挙で渋沢栄一は召し抱えられました。渋沢は、1867 年パリ万博を視察後、慶喜の弟昭武に随行してヨーロッパ各国を訪れました。帰国後、渋沢は大蔵省に在籍しますが、退官後は、第一国立銀行の頭取に就任し、以後、実業界に身をおき、東京ガス、東京海上火災保険、王子製紙、帝国ホテル、秩父鉄道、東京証券取引所、キリンビールなど、多種多様の企業の設立に関わり、その数は 500 を超えます。渋沢は、「日本資本主義の父」と呼ばれ、日本の近代化を象徴する人物となりました。また、現在の一橋大学や東京経済大学、そして日本女子大学の設立など高等教育の普及にも尽くしました。さらに、養育院の院長を務めるなど 500 以上の慈善事業にも関わりました。「論語と算盤」は、渋沢栄一の講演の口述をまとめたものです。その中には、「自分を知る」「どんなことも誠実さを基準にする」「思いやりを大切にする」「公のために尽くす」といった今を生き抜く考え方が詰まっています。プロ野球日本ハムファイターズの栗山監督は、この



「論語と算盤」を選手に手渡ししているそうです。アメリカで活躍している大谷翔平選手もその一人です。日本ハム入団当時、大谷選手の評判は、「二刀流は無理」「プロでは通用しない」というものでした。しかし、栗山監督は「人間は、なぜ前例のないものを否定するんだ?」「なぜ見えない未来を、信じようとししないんだ?」と逆に疑問を感じ、批判には屈せず、大谷選手の二刀流を認めて育成にあたったそうです。

幕末から明治へと激動する時代を公のために生き抜いた渋沢栄一、そして現在、メジャーリーグで二刀流として活躍する大谷翔平選手、二人の共通点は「見えない未来を信じる力」があるからに違いないと渋沢栄一の子孫の渋沢健さんは、栗山監督との対談で語っています。

我々、子どもたちにとって一番身近なサポーターになるべき大人は、子どもたちの「見えない未来」を信じないわけにはいきません。すぐ目の前にある「見える結果」ばかりを追いかけるのではなく、辛抱強く「未来の輝き」を信じようとする姿勢が何よりも大事なのではないのでしょうか。

最後に、渋沢栄一の言葉で私の好きな言葉を贈ります。

「目先にすぐ成果が出ないとしても、それはまだ機が熟していないだけだ。タイミングがまだ合っていないだけなのだ。事をあきらめることなく、忍耐強く進めるべきだ。」

☆4年生 校外学習 佐原・航空博物館（10月14日）



4年生は、社会科で千葉県の学習をしています。千葉県の偉人「伊能忠敬」（当時としては驚異的な正確さを誇る日本地図を作製した）の故郷「佐原」の街並みの散策をしました。実際の街並みを見ながら、ボランティアガイドさんの話を聞き、佐原の町の歴史や特色を学ぶことができました。

その後、成田の航空博物館に行って、世界とつながる成田空港や航空産業の歴史について学びました。博物館からは、成田空港も間近に見え千葉県と日本、世界とのつながりを感じることができました。



6年



5年



4年



3年



2年



1年

22日は夏休みが明けて初めての学校公開と学級懇談会でした。平日にも関わらず多くの保護者の皆様のご参加をいただきありがとうございました。

6年生は、タブレットを利用した学習の様子を保護者の皆様にみていただきました。ご覧いただいた通り、友達の意見をすぐに見ることができ、より主体的な学習が進められると期待しています。

4年生は、「命」についての学習を講師の先生をお招きして展開しました。

5年生は、「生き物」についての調べ学習の成果を発表していました。1年生は、おうちの方にも学習のお手伝いをいただきながら進めていました。2年生は、算数のかけ算の学習を進めていました。3年生は工作の学習や算数の学習を見ていただきました。